

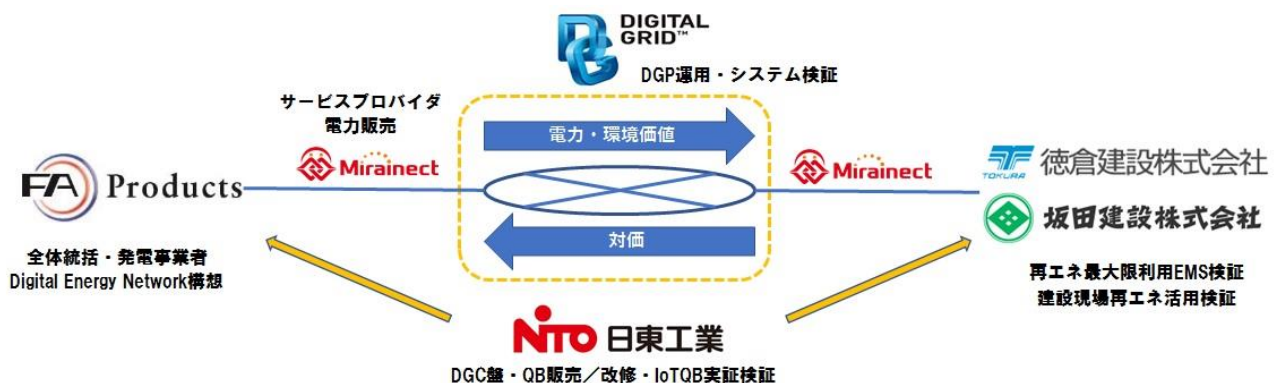
P2P電力取引実証プロジェクトをスタート

～non-FIT太陽光の推進と環境価値取引の確立を目指す～

日東工業株式会社（本社：愛知県長久手市、取締役社長 佐々木 拓郎、以下 日東工業）は、このたびデジタルグリッド株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 豊田 祐介）が提供するデジタルグリッドプラットフォーム（以下DGP）を利用したPeer to Peer（ピア・ツー・ピア、以下P2P ※）電力取引実証プロジェクトに参加します。

本実証プロジェクトは、日東工業がデジタルグリッド社の電力を識別する技術や融通制御指令に対応した分電盤（DGC 盤）や電源設備を提供し、株式会社 FA プロダクツが幹事企業（全体統括・発電事業者）、株式会社ミライネクトがサービスプロバイダ（SP）、デジタルグリッド株式会社が DGP 運用やシステム開発、徳倉建設株式会社・坂田建設株式会社が建設工事や再エネ活用検証とそれぞれ担当し6社で立ち上げ、2020年内の運用開始を予定します。

DGP を利用した民間企業間の P2P 電力取引は初の試みであり、プロジェクト開始後は速やかに参画企業を増やし、ネットワークの拡大を目指します。



エネルギー資源に乏しい日本にとって、エネルギー自給率の向上は長年の課題です。震災をきっかけに分散エネルギーの重要性が指摘され、再生可能エネルギーの普及と共にエネルギーミックスが推進されています。近年のブロックチェーン技術の進歩は個人間の電力取引を可能にしました。これからは、電気を選べる時代になります。DGP を利用することで、消費者と発電事業者が再生可能エネルギーを直接取引する電力および環境価値の P2P 取引が可能となり、再生可能エネルギーの普及拡大に大きく貢献できる可能性があります。

当社は、デジタルグリッド社が有する電力を識別する技術や融通制御指令を担うデジタルグリッドコントローラに対応した一体型分電盤の開発を目指し、再生可能エネルギーの円滑な拡大と誰もが電力取引に参加できる環境づくりに貢献していきます。

※Peer to Peer（ピア・ツー・ピア）とは、ネットワーク上で機器間が接続・通信する方式のひとつです。

以上